

令和元年度 社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 事業報告

I 本部拠点事業

(1) 法人運営事業

富士宮市社協の適正運営に心がけ、組織管理や諸規程の見直しを随時行いました。

●理事会・評議員会等の開催

理事会	開催年月日	主な審議内容
	令和元年 5月21日	○平成30年度事業報告の承認 ○平成30年度収入支出決算の承認 ○評議員選任・解任委員会の委員の選任について ○会長表彰について ○評議員会の招集について
	令和元年 6月11日	○会長・副会長・常務理事の選任について ○評議員の推薦について ○顧問の選任について
	令和元年10月 1日	○経理規程の一部改正について ○旅費規程の一部改正について ○令和元年度補正予算(第1号)の同意について ○評議員会の招集について
	令和 2年 2月13日	○令和元年度補正予算(第2号)の同意について ○評議員の推薦について ○評議員会の招集について
	令和 2年 3月17日	○令和元年度補正予算(第3号)の同意について ○令和2年度事業計画の同意について ○令和2年度会計予算(案)の同意について ○評議員会の招集について

評議員会	開催年月日	主な審議内容
	令和元年 6月 5日	○平成30年度事業報告の承認 ○平成30年度収入支出決算の承認 ○理事及び幹事の選任について
	令和元年 10月 9日	○令和元年度補正予算(第1号)の承認について
	令和 2年 2月 26日	○令和元年度補正予算(第2号)の承認について ○理事の選任について
	令和 2年 3月 25日	○令和元年度補正予算(第3号)の承認について ○令和2年度事業計画の承認について ○令和2年度会計予算(案)の承認について

評議員選任・解任委員会

	開催年月日	主な審議内容
	令和元年6月18日	評議員の選任について
	令和 2年3月 6日	評議員の選任について

●監査

- ・平成30年度の会計監査、業務監査を実施しました。(令和元年5月9日)
- ・富士宮市高齢介護支援課による指導監査を、厚生労働省通知(指導監査ガイドライン)に沿って実施されました。

●定款規程等の改正及び変更

経理規程、旅費規程、契約職員就業規則の一部をそれぞれ改正しました。

●富士宮市社会福祉協議会会員加入促進

市民や企業の皆様に富士宮市社会福祉協議会の行っている事業に賛同し、ご協力いただけるよう、「日赤・社協合同大会」や「民生委員児童委員協議会総会」をはじめ、市内14か所の各地区社会福祉協議会総会で会員加入のお願いをしました。

●行政とのパートナーシップの構築

地域福祉推進に必要な人材確保と事業費への公費補助金の理解を求め、地域福祉施策の充実に取り組みました。

●その他

- ・各事業において必要な知識の習得、円滑に推進できるよう外部研修に積極的に参加しました。
- ・内部研修の実施：職員のスキルアップを目的として、以下の内容に積極的に参加しました。
 - ・生活支援体制整備事業について（参加者 34名）
 - ・成年後見関係（全6回）（参加者 延77名）
 - ・安全運転管理講習（参加者 38名）
- ・実習生の受入れ：これから社会福祉を担う学生に対し、専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行いました。

（２）企画広報事業

●広報紙発行、ホームページ活用事業

- ・富士宮市社協の活動や企業の社会貢献活動、地域活動の周知を目的に広報紙「明るいまち」を発行しました。（配布先：全戸配布 発行回数：年4回（4・7・10・1月））
- ・ホームページを活用し、富士宮市社協の事業（活動）に関する周知と情報提供を行いました。

●日赤・社協合同大会

日本赤十字社と富士宮市社協の事業についての周知と、その事業への理解と協力を呼びかけました。

日 時：令和元年6月29日（土）9:30～ 参加者：区長・町内会長

講 演：「これからの生活困窮者支援に向けて～SOSを言える・気づける地域へ～」

明治学院大学教授 新保美香 氏

●表彰状・感謝状の贈呈

表彰規程に基づき、社会福祉功労者や協力者への表彰・感謝状の贈呈を行いました。また、静岡県社会福祉協議会会長表彰をはじめ静岡県知事表彰、厚生労働大臣表彰等の推薦を行いました。

- ・富士宮市社会福祉協議会会長表彰 26名
- ・富士宮市社会福祉協議会会長感謝状 23名
- ・日本赤十字社社資功労 3名
- ・静岡県共同募金会感謝状 3名

●声の明るいまちの発行

視覚障がいのある方に、音声版「社協広報紙 明るいまち」を発行しました。

（３）地域福祉推進事業

①地域福祉推進事業

●地域福祉推進計画

- ・地域福祉推進計画 富士宮市・富士宮市社協職員研修会
日 時：令和2年1月24日（金）15:00～（会場：富士宮市総合福祉会館）
参加者：地域福祉推進計画に関わる職員
内 容：（講演）地域福祉推進の一体計画の意義と役割 ～行政、社協が地域を支えるためには～
駒澤大学教授 川上富雄 氏
- ・地域福祉推進計画 情報交換会
日 時：令和2年1月29日（水）10:00～（会場：富士宮市役所 111 会議室）

参加者：地域福祉推進計画に関わる部署の係長

内容：地域福祉推進計画4年目の事業進捗に関する報告と意見交換

- ・地域福祉計画 策定専門委員会・地域福祉活動計画策定・推進委員会合同会議

日時：令和2年2月19日（水）19:00～（会場：富士宮市役所111会議室）

参加者：委員11名、事務局 富士宮市福祉企画課、富士宮市社協地域ささえあい係職員8名

内容：4年目における進捗・評価の説明、各委員との意見交換、次期計画についての基本方針等についての説明

- ・地域福祉推進計画 住民懇談会 全体会

日時：令和2年2月3日（月）13:30～（会場：富士宮市総合福祉会館）

参加者：14地区社協役員・推進委員160名

内容：（基調講演）地域福祉（推進）計画の目的と意義について

～行政と地域のパートナーシップに基づく地域福祉の推進とは～

駒澤大学教授 川上富雄 氏

グループワークによる地域課題の抽出、参加者間の情報共有

- ・地域福祉推進計画 地区別住民懇談会

日時：令和2年2月12日（水）13:30～（会場：富士根北公民館）

参加者：富士根南・富士根北地区社協役員、推進委員23名

内容：（基調講演）「地域の生活課題を解決するためのヒント」

～住民主体と住民主体を支える社協や行政の役割～

駒澤大学教授 川上富雄 氏

グループワークによる地域課題の解決法策の検討、参加者間の情報共有

【※上記以外の地区別住民懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

- ・地域福祉推進計画 合同事務局会議

日時：①令和元年4月25日（木）10:00～ ②令和元年5月28日（水）10:00～
③令和元年6月25日（火）10:00～ ④令和元年7月12日（金）13:30～
⑤令和元年8月16日（金）13:30～ ⑥令和元年9月19日（木）10:00～
⑦令和元年10月17日（木）10:00～ ⑧令和元年11月20日（水）10:00～
⑨令和元年12月5日（水）10:00～ ⑩令和2年1月7日（水）13:30～
⑪令和2年2月6日（木）10:00～ ⑫令和2年3月11日（水）13:30～

会場：富士宮市役所 会議室

内容：地域福祉推進計画の進捗確認、次期計画の策定に関する協議

●地域福祉活動実践事例集の発行

- ・市内で先駆的に地域福祉活動を実践している7事例について紹介。各活動の取り組みの目的や方法について理解を図るため、地域福祉活動実践事例集を発行しました。（発行部数500部）

●地域福祉コーディネーターとしての資質向上

- ・コミュニティワーク研修

日時：令和元年12月4日（水）10:00～16:00（会場：藤枝市岡部支所）

内容：（講義）「地域アセスメントの必要性和展開について」

駒澤大学教授 川上富雄 氏

事例報告 藤枝市社協における地区社協支援に関する事例報告

フィールドワーク 岡部地区の歴史、文化、生活状況を知る

演習 地域アセスメントの活用実践方法を考えるー岡部地区を地域アセスメント

●他市からの依頼対応

- ・藤枝市社協 地区社会福祉協議会連絡会 事例報告

日時：令和元年10月30日（水）10:00～11:30（会場：藤枝市岡部支所分館）

対象者：藤枝市内地区社会福祉協議会役員、関係者等

報告内容：小地域福祉ネットワークについて活動の概要、見守り活動から住民の課題や困りごと等に気づいた事例、住民の課題や困りごとの解決に向けた取り組みの事例、今後めざしていく

②地域福祉教育事業

地域に生活するすべての人が、お互いにその存在を認め合い、支えあいながら「みんながしあわせ」と感じられる地域とするために、家庭、学校、地域で行動する人を育む教育実践を、地域や学校などにおいて推進しました。

●福祉教育推進連絡会

日 時：令和元年 6 月 18 日(火)14:30～16:30（会場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室）

参加者：富士宮市立小学校の教諭 19 名、富士宮市立中学校の教諭 9 名

内 容：（講演）「福祉教育の＜実践＞～教材と方法をとおして～」

愛知教育大学名誉教授 静岡福祉大学教授 増田樹郎 氏

参加者の情報・意見交換「講演を聴いての感想、今後取り組んでみたいこと」

助言者：若林直巳 氏

●学校における福祉教育プログラムの支援

- ・富士宮市社協職員が学校に出向き、講話及び実践者と一緒になっての授業を行いました。

また、地域福祉活動への参加調整を行いました。

実 績：合計 43 件

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
件数	7件	6件	4件	2件	7件	10件	3件	2件	2件

実施校：小学校 12 校、中学校 3 校、高等学校 4 校

内 容：障がいの理解、地域福祉についての学習、地域寄り合い処・子育てサロンでの交流、中学生校外学習

講 師：実践者 26 名、行政 4 名、事業所職員 2 名、地域包括支援センター 1 名、富士宮市社協 8 名（累計）

協 力：地域寄り合い処 5 か所、地域子育てサロン 2 か所、認知症カフェ 1 か所

- ・学校からの依頼に対し、講師を紹介しました。

依 頼 元	内 容	連 携 先
富岳館高等学校	バリアフリー着物について	後藤正子 氏 富士宮市身体障害者福祉会 樺山勝弘 氏

●他機関との連携

- ・学校における福祉教育の推進について、富士宮市教育委員会と情報共有（年 3 回）を行い、連携を図りました。

- ・富士宮市社会教育課、地域包括支援センターと協働で、以下の講座を実施しました。

- ・小学生ボランティア講座

依頼元：富士宮市社会教育課

日 時：令和元年 8 月 20 日(火)9:30～9:50

内 容：ボランティアについて講話

- ・認知症サポーター養成講座

依頼元：地域包括支援センター

内 容：地域福祉の考え方、地域の助け合い活動について説明

富岳館高等学校

日 時：令和元年 6 月 13 日(木)10:50～12:40

富士宮北高等学校・富士宮西高等学校・富士宮東高等学校合同

日 時：令和元年 8 月 6 日(火)14:00～16:00

令和元年 8 月 9 日(金)10:00～12:00

●福祉教育に必要な備品の貸し出し

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	0件	2件	2件	3件	2件	1件	1件	7件	0件	3件	0件	0件
貸出品 件数	高齢者 疑似体験	アイ マスク	白杖	点字練習 セット	車椅子	ボッチャ	UBカルタ					
	1件	12件	11件	4件	10件	3件	3件					

③地区社協活動事業

●地区社協活動推進連絡会

日時：令和元年 9月 3日（火）13:30～

内容：講演 「地域福祉の推進に必要とされる地区社協活動とは」

駒澤大学教授 川上富雄 氏

参加者：14 地区社協会長、企画（推進）委員長、役員 49 名

●地区社協出前講座

- ・上野地区社協推進委員研修会 日時：令和元年 6月 6日（木）10:00～（上野会館）
- ・富丘地区社協推進委員研修会 日時：令和元年 7月 20日（火） 9:30～（富士宮市総合福祉会館）
- ・富士根南地区社協推進委員研修会 日時：令和元年 8月 6日（火）19:00～（富士根南公民館）
- ・富士根北地区社協推進委員研修会 日時：令和元年 9月 25日（水）19:00～（富士根北公民館）
- ・淀橋区小地域説明会 日時：令和元年 10月 5日（火）19:00～（淀橋区民館）
- ・大宮西地区社協推進委員研修会 日時：令和元年 10月 17日（木）19:00～（西公民館）
- ・青木区福祉推進協議会情報交換会 日時：令和元年 12月 21日（土）19:00～（青木区第1町内会集会場）
- ・芝川地区社協推進委員研修会 日時：令和 2年 2月 14日（金）10:00～（芝川公民館）
- ・大宮西地区社協推進委員研修会 日時：令和 2年 2月 20日（木）19:00～（西公民館）

●地区社協活動に関する情報発信

- ・明るいまち等を通し、各地区社協活動（者）や先駆的に取り組む事例等を紹介しました。
- ・富士宮市総合福祉会館内に、地区社協広報紙を周知するためのパンフレットスタンドを設置しました。

●地区社協への助成

- ・地区社協活動が円滑に推進できるよう、市内 14 地区社協に対し助成金を交付しました。 8,188,500 円

④地域寄り合い処事業

寄り合い処を拠点とし、住民同士の交流、介護予防の促進、不安や悩みごとの解消、孤立の防止などが図れるよう、運営支援やスタッフ研修等を実施しました。

●寄り合い処運営支援

- ・運営状況の把握、問題・課題の早期発見及び対応、運営に関する情報提供などを行いました。
- ・課題解決に向けた、代表者・スタッフとの会合や自治会等の関係・関連機関との会合を行いました。
- ・開催地域での広報方法の提案や助言を行いました。
- ・運営に課題を抱える地域寄り合い処に対し、方策を検討し支援にあたりました。
- ・代表・スタッフ・参加者などのニーズ調査を行い、研修やアドバイスなどに反映させました。
- ・公立保育園と地域寄り合い処との交流の継続を行いました。
- ・新規開所後、運営状況や参加者の様子確認を行い、必要なアドバイスを行いました。
- ・富士宮市健康増進課、警察署、その他関係機関が実施する啓発活動や事業についての情報提供及び講座などの紹介を行いました。
- ・寄り合い処でのボランティアの連絡調整を行いました。
- ・令和 2年 3月 31日現在の開所数は、122 か所（平成 31年 3月 31日時点：121 か所）

●地域寄り合い処開所支援

・新規立ち上げに向けて、地域住民に対し、寄り合い処の趣旨や立ち上げの手順から運営方法、利用者との関わり方についての説明をしました。

開催地区：福地区、北山3区、小泉4区、宮原区、神田区、内房3区

新規開所数：3か所（福地区・北山3区・小泉4区）

●寄り合い処スタッフ研修会

（第1回）

日時：令和元年9月29日（日） 10：00～11：30（富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール）

参加者：地域寄り合い処代表者及びスタッフ 144名

テーマ：地域寄り合い処がもつ機能について

内容：（説明）寄り合い処の趣旨や活動により地域で役に立てること

（富士宮市社協地域ささえあい係職員）

（講演）介護予防の活動とはどのようなことか（富士宮市健康増進課 池谷朋江氏）

（講演）寄り合い処活動の実践（仲よし寄り合い処代表 望月輝彦氏）

（第2回）

日時：令和2年1月21日（火） 14：00～16：00

令和2年1月31日（金） 14：00～16：00

令和2年2月12日（水） 14：00～16：00

会場：（1/21）上井出出張所 ホール（上井出区民館）

（1/31）富士宮市総合福祉会館 第1・第2会議室

（2/12）芝川公民館 第1・第2・第3会議室

参加者：地域寄り合い処代表者及びスタッフ 188名

テーマ：参加者の悩みごとや困りごとに気づき、適切な対応をするためには

内容：（1）講義 静岡県社会福祉士会副会長 安藤千晶氏

（2）演習：グループでの意見交換、発表・講師まとめ

演習テーマ※3会場同一内容で実施

・普段と違う異変（変化）に気づいたことは？また、気づいたときの対応は？

・寄り合い処の運営や実施時の様子など

●広報活動

・新規開所の3か所について、地元新聞に掲載してもらおうとともに、明るいまちに新規開所記事を掲載しました。

・自宅開催や活動開催中ということが分かりにくい会場に、活動中していることを地域の方へアピールしていただくよう、A3判のラミネート看板を配布しました。

●他市町からの視察受け入れ

【※静岡市清水区から視察依頼あり。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

⑤子育てサロン事業

子育て中の母親同士の交流、不安の解消、孤立防止が図れる居場所づくりを推進しました。

●地域子育てサロン運営支援（20か所）

子育てサロンの代表者・スタッフ、利用者との関わりの中で、運営支援が必要な場合、適切に助言・提案し、課題や問題がある場合には、協議・検討の場を通じて解決できるよう支援を行いました。

●地域子育てサロン開設

令和元年度新規開設 1か所（上井出地区）開所日：8月22日

自治会合等において子育てサロンの意義や協力、設立に向けた説明を上井出地区で実施し、運営をしていただく地域ボランティアに対し、子育てサロン立ち上げ会議を行いました。

●キラキラサロン

富士宮市健康増進課における乳幼児全戸訪問事業において、気がかりな親子に対し、育児への不安を解消することを目的に、親子のふれあい遊びや、アドバイザーによる絵本の読み聞かせ・手遊び等を行いました。

日 時：毎月第2水曜日 9:30～11:30

4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、8月7日、9月11日、10月9日、
11月13日、12月11日、1月8日、2月12日

会 場：富士宮市総合福祉会館 和室

●スタッフ研修会

子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、子育てに関する不安を取り除き、子育ての楽しさを感じてもらうにはどうしたらいいか、子育てサロンとしてどのような支援ができるかを考えていくことを目的に行いました。

日 時：令和元年12月6日(金) 13:30～15:30 (会場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室)

参加者：子育てサロンスタッフ、子育てサロンアドバイザー、富士宮市子ども未来課、
富士宮市健康増進課 38名

内 容：講演「子どもを健やかに育むために」

グループワーク 富士宮市子ども未来課主事 鈴木祐策氏

●孫・他孫育て講座

「孫の世話を応援したいけど近頃の子育ての仕方が分からない」「地域の子どもたちと関わるきっかけを作りたい」等、孫を迎えて悩んでいる方、地域での子育てに興味のある方を対象に、自分の孫や他孫(たまご)に向けて、子育て環境の変化や接し方を学び、緩やかな地域の子育て応援をしてもらうことを目的に開催しました。

開催日及び内容：第1回：令和元年6月26日(水) 13:30～15:30

学ぼう！今の子育て環境～変わった事 変わらないもの～

第2回：令和元年7月3日(水) 13:30～15:30

孫の気持ちに寄り添うあそび～玩具・絵本・わらべうたなど～

孫・他孫育てについてのおしゃべりタイム

第3回：①令和元年7月9日(火) 9:45～11:45

子育てサロン「いーばしょ」(富丘公民館)

②令和元年7月12日(金) 10:00～11:30

ふれあいサロンどんぐり(宮原1区区民館)

③令和元年7月17日(水) 10:00～12:00

子育てサロンおつきい和(大岩3区区民館)

④令和元年7月25日(木) 10:00～12:00

すくすくサロンゆずっ子(富士山縄文の里 大鹿館)

子育てサロンを見学体験しよう！～1か所体験～

会 場：富士宮市総合福祉会館 第3会議室

参加者：子育て支援に興味のある方 37名

●子育てサロンフェスティバル

日 時：令和元年10月18日(金) 9:50～11:30

会 場：富士宮市総合福祉会館 記念ホール・ふれあいロビー・第1・2会議室、創作室

参加者：市内20か所の子育てサロン参加者 276名

内 容：親子ふれあい遊び・子育て相談・健康相談等、0歳児コーナー

●子育て支援拠点整備事業(子育てサロンわくわくアップ事業)

各子育てサロンに対し、新たな玩具やマット等の施設整備を進め、地域における子育て支援機能の充実を図りました。令和元年度で終了。

⑥第1層生活支援コーディネーター事業

市域における高齢者の生活支援・介護予防サービス体制整備の推進を図るため、地域の生活課題の把握やネットワーク構築に向けたコーディネート業務に努めました。

●第1層協議体(富士宮市地域支えあいプロジェクト)

(1) 第1層協議体の内容

- ・日時：5月28日（火）13：30～（会場：富士宮市役所）
内容：介護保険サービス対象者に関する富士宮市の実情説明、第2層協議体の動きなどについての報告
- ・日時：8月26日（月）13：30～（会場：富士宮市役所）
内容：第2層協議体の進捗などについて報告、その他意見交換
- ・日時：11月28日（木）13：30～（会場：富士宮市役所）
内容：第2層協議体の進捗などについて報告、その他意見交換
- ・日時：2月10日（木）13：30～（会場：富士宮市役所）
内容：個人情報と個人情報保護法についての学習、第2層協議体の報告

(2) 生活支援コーディネーター、事務局との打ち合わせ

- ・第1層協議体の開催前に会議内容の検討
- ・第2層協議体設置に関する進捗状況について情報共有

●生活支援ニーズの把握

- ・寄り合い処に出向き、高齢者の生活課題を把握

●情報整理

- ・説明資料・会議資料・提出資料等の作成と業務実績のまとめ

●第2層協議体設置への支援

- ・区長・地区社協役員、ボランティア団体、郵便局、農協等へ事業説明及び協力依頼
- ・第2層生活支援コーディネーターの支援

●研修等への参加

(いきがい・助けあいサミット in 大阪)

日時：9月9日（月）13:00～18:30～9月10日（火）9:00～16:30 研修地：大阪府

(先進地視察)

日時：7月17日（水）10:00～17:00 視察場所：静岡市社協

日時：7月31日（水）13:30～16:30 視察場所：藤枝市社協

(見守りあんしん事業連携会議)

日時：9月4日（水）10:00～12:00（会場：富士宮市役所）

⑦第2層協議体推進業務

関係団体と情報共有を行い、連携・協働による支え合いの地域づくりを行う組織の設立と、推進を支援しました。

●第2層協議体推進業務

自治会支部圏域における高齢者の生活支援・介護予防サービス体制整備の推進を図るため、地域の生活課題の把握やネットワーク構築に向けたコーディネート業務に努めました。

●第2層協議体の設立に向けた説明会の開催

- ・大宮中地区説明会

日時：8月29日（木）19:00～20:00（会場：駅前交流センターきらら）

参加者：44名

- ・大宮東地区説明会

日時：10月1日（火）19:00～20:00（会場：南部公民館）

参加者：50名

- ・大富士地区説明会

日時：12月5日（木）19:00～20:30（会場：大富士交流センター）

参加者：39名

●第2層協議体の設立

- ・大宮中地区・大宮東地区協議体

日時：2月5日（火）19:00～20:30（会場：駅前交流センターきらら）

参加者：16名（委員17名中）

内 容：委員長、副委員長の選出、活動計画案の検討

・富丘地区・大富士地区協議体

日 時：2月26日(水) 19:00～20:30 (会場：富士宮市総合福祉会館)

参加者：13名(委員14名中)

内 容：委員長、副委員長の選出、活動計画案の検討

●第2層協議体の運営

・大宮西地区・芝川地区協議体

日時：① 6月28日(金) 13:30～15:30 (会場：芝川公民館)

② 8月23日(金) 13:30～15:30 (会場：芝川公民館)

③ 10月25日(金) 13:30～15:30 (会場：芝川公民館)

④ 12月20日(金) 13:30～15:30 (会場：芝川公民館)

⑤ 2月28日(金) 13:30～15:30 (会場：芝川公民館)

内容：①説明：協議体の役割と進め方

グループワーク「高齢者が抱える生活課題の把握方法について」

②講話：「ちょっとした手助けが頼める地域を目指そう」

講師：地域ささえあいプロジェクト委員長 川原崎仁 氏

グループワーク「地域で取り組めそうな“ちょっとした手助け”は何か？」

③講話：「居場所とは何か ～黒田よりあいサロンの取り組み」

講師：黒田よりあいサロン 代表 外岡準司 氏

グループワーク「今、必要な居場所とは？」

協議：調査部会、生活支援部会、居場所部会の設置について

④講話：「住み慣れた地域で暮らし続けるために互い様の気持ち」

講師：富士宮市シルバー人材センター 森千越 氏

グループワーク「居場所について」

⑤講話：「社会福祉法人が地域貢献として取り組む移動支援について」

講師：社会福祉法人富士宮福祉会 土井正孝 氏

協議：令和2年度事業計画について(協議体、部会について)

・富士根南地区・富士根北地区協議体

日時：① 6月26日(水) 13:30～15:30 (会場：富士根北公民館)

② 8月26日(水) 13:30～15:30 (会場：富士根北公民館)

③ 10月30日(水) 13:30～15:30 (会場：富士根北公民館)

④ 12月18日(水) 13:30～15:30 (会場：富士根北公民館)

⑤ 2月26日(水) 13:30～15:30 (会場：富士根北公民館)

内容：大宮西地区・芝川地区協議体と同じ。

●第2層協議体進捗報告会 【※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度へ延期】

・第1回 たすけあい・ささえあい実践セミナー

日時：3月5日(木) 19:00～

(4) ボランティア活動事業

ボランティア活動に関する相談やコーディネートの実績を図りました。

●ボランティア相談・コーディネート

内訳		件数 ※ () 内は活動につながった人数	
		令和元年度	平成30年度
コーディネート	活動希望者	17 (10) 件	13 (8) 件
	募集依頼	118 件	107 件
登録	団体	68 団体	46 団体
	個人	45 名	46 名

その他	活動全般に関わる相談	3 件	5 件
	職員による活動先の訪問	5 件	4 件

※活動依頼には、地域寄り合い処からのボランティア依頼を含みます。

●ボランティア活動の支援

ボランティア団体に対して、助成金情報を提供し、提案と申請書類作成支援を行いました。

●ボランティア活動保険の加入促進

	総 数	内 訳	
令和元年度	2,181 名	68 団体 2,140 名	個人 41 名
平成 30 年度	1,969 名	57 団体 1,934 名	個人 35 名

●災害ボランティア本部運営

・災害ボランティア活動に関する必要備品数の確認を行いました。

(現在在庫の備品数)

一輪車	10 台	軍手	196 組
ブルーシート	10 枚	スコップ (剣)	15 本
パール	5 本	スコップ (角)	15 本
災害時用睡眠 3 点セット	4 セット	長靴	19 足
簡易トイレセット	3 セット	土嚢袋 (100 枚入り)	2 枚
携帯用簡易トイレ	4 セット	椀 (210 入り)	9 セット
バケツ	10 個	皿 (70 入り)	11 セット
のこぎり	10 本	シンバル	1 台

・行政担当者 (災害ボランティア本部ボランティア班) との情報共有を 8 月と 11 月に実施しました。

●災害ボランティア講座の開催 【※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

●家具固定事業の実施

経済的な理由で専門家に家具固定を依頼できない高齢者や障がい者等の世帯を対象に家具の固定を実施しました。

実施日時：令和 2 年 26 日 (日) 9:00~12:00

件 数：3 件

参加スタッフ：震災から命を守る富士宮大工の会 7 名
 災害ボランティアコーディネーター富士宮連絡会 9 名
 日本建築専門学校学生 6 名
 富士宮市福祉企画課、危機管理局 2 名
 富士宮市社協 3 名
 計 27 名

※家具固定事業の募集案内を民生委員児童委員へ配布、阿幸地区では全戸配布 (1,300 部) しました。

●福祉ボランティア講座

災害ボランティア活動に参加される方に必要な知識、情報の提供をしました。

また、盲導犬育成募金ボランティアに参加される方に向けて、視覚障がいの理解や盲導犬の役割について学ぶ機会をつくることの企画、実施に向けて検討しました。

●ボランティア担当者会議

ボランティア活動希望者及び活動受け入れ事業所担当者と、活動前オリエンテーションを行いました。

(5) 子育て支援センター事業

3 歳までの未就園児と子育て中の親、祖父母に対し、専門スタッフによる相談・助言、親子 (祖父母) 関係をより良くするためのプログラムの提供、利用者同士の情報交換の場の提供などを行いました。

●子育て支援センターたち運営

開所日：火~土 9:00~12:00、13:00~15:00

(事業内容)

- ・未就園の子どもと親に対する交流場所の提供及び交流の促進
- ・子育てに関する情報提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講座（月1回以上）

（実施状況）

開所日数：242日 延利用者数：14,129名（1日平均58.4名）
 利用者サークル回数：43回 延利用者数：640名
 電話相談：66件 面接相談：1,916件
 講座実施回数：34回 延利用者数：1,698名

●各種講座の開催

4月	子育て講座	10月	親子ヨガ講座(0歳児)
5月	親子体操教室 (対象：1歳以上、歩ける子)	11月	親子体操(2.3歳)
6月	パパの子育て講座	12月	栄養講座
7月	わらべうた講座	1月	創作講座
8月	療育支援講座	2月	日赤救急講座
9月	防災講座	3月	【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

・その他

健康相談：市健康増進課保健師による感染症などの講話や個別相談対応 計10回

●文化伝承事業（協力：ふじさんシニアクラブ富士宮）

FSC会員とたち利用者親子等が紙芝居・折り紙・体操・正月遊びなどを通して交流を図りました。

実施日：9月14日(土) 参加者 36名
 10月3日(木) 参加者 53名
 1月25日(土) 参加者 62名

●地域交流事業（協力：富丘地区社会福祉協議会）

富丘地区社協主催「あったか家族のつどい」参加者（高齢者）と、たち利用者が総合福祉会館大広間で、わらべ歌、手遊び、体操、プレゼント交換などを通して交流を図りました。

実施日：9月19日(金) 参加者 36名
 12月20日(金) 参加者 78名

●その他

- ・OBママの子育て応援

たちを利用していた先輩お母さん達が、子どもが通園している時間を利用し、現在利用している保護者への相談などを実施。 計5回 290名

（6）しあわせ支援事業

①応急小口資金貸付事業

生活困窮世帯に対し、緊急かつ一時的に必要なとする生活資金の貸付を行い、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的として実施しました。

貸付件数：4件
 償還率：25%

②高額療養費貸付事業

富士宮市の国民健康保険加入者で限度額適用認定証の交付を受けられない方を対象に貸付を行い、その対象者が一時的に支払うべき医療費の負担の軽減を図りました。

貸付件数：115件
 貸付金額：19,818,816円
 医療機関振込：19,657,822円
 本人返還金：160,994円

③生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした静岡県社協が実施する貸付制度について、富士宮市社協が窓口となり貸付を行いました。

貸付件数：9件 貸付総額：2,466,000円
内 訳：緊急小口資金（5件）：422,000円
 教育支援資金（3件）：1,834,000円
 福祉費（1件）：210,000円

④権利擁護事業

●日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、契約に基づいた支援を行いました。また、利用者の状況を確認し、必要に応じて成年後見制度への移行のための調整を行いました。

- ・契約件数：92件（令和元年度契約件数14件）
- ・解約件数：7件（死亡2件・後見人へ移行3件・転居1件・施設入所1件）
- ・実働件数：1,876件（認知症228件、知的障がい者685件、精神障がい者426件、その他537件）
- ・相談件数：4,021件（認知症622件、知的障がい者1,243件、精神障がい者1,026件、その他1,130件）

●富士宮市成年後見推進事業

高齢者や障がい者の権利擁護推進のため、成年後見制度の新たな担い手の育成に努めました。

- ・公開講座 令和元年7月11日（木）18:30~20:30 参加者56名

「改めて考えよう！意思決定支援の大切さ」

講師：全国手をつなぐ育成会連合会 又村あおい氏

- ・市民後見人養成講座修了者フォローアップ研修 年5回実施
- ・市民後見人候補者名簿登録試験実施（筆記・面接）

8名を市民後見人候補者として決定し、富士宮市へ名簿を提出しました。

●法人後見事業

家庭裁判所より打診のあった案件について成年後見人の法人受任の検討や、事業の適正性を確保するために、運営委員会を適宜開催し事業の推進に努めました。

- ・運営委員会年4回開催 12件の審査を行い受任の答申を行いました。
（類型：後見8名・保佐2名・補助1名・候補者欄記載1名）
- ・受任者数 18件（1名死亡により終了）

⑤相談事業

結婚相談を月5回開設し、民生委員児童委員協議会、更生保護女性会より選出された相談員10名が、相談受付から、見合い、成立までをサポートしました。

（令和元年度実績）

結婚成立件数：2件
見合い実施件数：67件
新規登録者数：50名
相談件数：1,034件（男性559件・女性475件）昨年度より18%増

⑥遺児・交通遺児援護事業

交通事故で親を亡くした児童、何らかの理由により両親を亡くした児童に対し、学資手当及び入学支度金を支給し、学資を援助することで児童の健全育成を図りました。

（遺児）18歳未満で、両親が何らかの理由で亡くなられた児童に学資手当を支給しました。

- ・学資手当対象者：中学生1人・高校生1人

（交通遺児）18歳未満で、交通事故により親を亡くした児童に対し、学資手当等を支給しました。

・学資手当対象者 : 高校生 1 人

⑦生活困窮者自立支援事業

生活困窮者（様々な事情により経済的に困りの方）の相談を受け、就職、住居、家計管理、子どもの学習など1人ひとりの状況に合った支援プランを考え、相談者に寄り添いながら、自立までを包括的・継続的に相談支援に取り組みました。

（主任相談支援員（専任1人）、相談支援員（専任1人）、家計相談支援員（兼任2人）、就労支援員（兼任1人））

●自立相談支援事業

相談者の課題把握、支援計画を含む包括的な支援、地域のネットワークづくり等を実施しました。

- ・新規相談件数：117件
- ・支援プラン決定件数：60件
- ・支援プラン終結件数：23件
- ・自立相談支援事業支援延べ件数：1,307件
- ・ふじのみやフードサポート、ベジタブルサポーター事業において住民や企業の事業理解を深めるとともに地域力を活かした食料支援、イベントを実施しました。
- ・食料支援延件数：96件
- ・イベント
 - ・ほかほか食堂（ふじさんシニアクラブ富士宮 協力）
日時：令和元年11月30日（土）11：00（富士宮市総合福祉会館）
おにぎり、みそ汁300食
 - ・消防フェスティバルへの参加等
 - ・制度理解を深めるための講演会【※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】
テーマ：ひきこもり・8050問題を考える
～誰にでも居場所がある社会を目指して～
日時：令和2年3月21日（土）18：30 富士宮市総合福祉会館
講師：愛知教育大学大学院准教授 川北稔氏

●家計改善支援事業

家計に課題のある方に対し、信頼関係を構築しながら、相談者自身が家計の状況を理解し、家計管理に向けて前向きに取り組めるよう支援しました。

- ・家計改善支援事業支援延べ件数：192件

（7）共同募金配分金事業

共同募金（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金）の趣旨や用途について市民の理解を深めながら、募金活動に努めるとともに、配分金を地域福祉の推進に有効に活用できるよう、助成事業を一般公募し、配分委員会において適正な審査を行ったうえで、市内の生活課題・福祉課題の解決に取り組む福祉団体・ボランティア団体に対し、財政面から支援を行いました。

●赤い羽根共同募金助成事業公募

地元新聞社や富士宮市社協ホームページ等を通じて広く公募しました。

受付期間

平成31年4月18日～令和元年5月17日

令和元年12月19日～令和2年1月17日

●配分金交付式の実施

第1回配分委員会については助成金交付式を行い、助成団体に対し共同募金の趣旨説明や住民への周知、街頭募金の協力を呼びかけました。

日時：令和元年6月19日 場所：富士宮市総合福祉会館 第1会議室 参加団体数：14団体

●配分委員会の開催

市民の方の意見が反映されるよう、住民を代表する区長会や民生委員児童委員協議会等の代表者の方に配分委員になってもらい、申請団体の助成内容を審議しました。

開催日時：第1回目 令和元年 5 月 28 日 (会場：富士宮市総合福祉会館)
 第2回目 令和元年 11 月 26 日 (会場：富士宮市総合福祉会館)
 第3回目 令和2年 2 月 4 日 (会場：富士宮市総合福祉会館)

●助成結果

静岡県共同募金会からの配分金

平成 30 年度共同募金・歳末助け合い募金剰余金からの収入	10,914,211 円
収入合計	10,914,211 円

助成金の使途

富士宮市社協事業(結婚相談、移動支援事業、修学旅行費助成事業)他 4 事業			8,160,300 円
ふじさんシニアクラブ富士宮、民生委員児童委員協議会、富士宮市ボランティア連絡会、災害見舞金			1,095,000 円
高齢者福祉事業	1 団体	1 事業	50,000 円
障害福祉活動事業	9 団体	15 事業	852,000 円
住民全般事業	2 団体	2 事業	47,000 円
更生保護事業	2 団体	2 事業	230,000 円
支出合計			10,389,300 円

※収入合計 10,914,211 円－支出合計 10,389,300 円＝524,911 円については、静岡県共同募金会へ返還。

静岡県共同募金会からの助成金(歳末たすけあい)

令和元年度歳末たすけあい募金からの収入	4,052,771 円
収入合計	4,052,771 円

助成金の使途

援護活動事業	186 世帯	449 名	1,905,000 円
施設入所児童援護活動事業	7 施設	28 名	168,000 円
支出合計			2,073,000 円

※収入合計 4,052,771 円－支出合計 2,073,000 円＝1,979,771 円については、静岡県共同募金会に返還し、令和2年度に再度配分されます。

II 介護保険事業

(8) 居宅介護事業

利用者の生活課題を整理し、自立した生活が送れるよう、また介護者の介護負担を軽減し在宅生活の継続が図れるよう支援しました。

- ・要介護者が可能な限り在宅生活を維持できるよう、ケアマネジメントを行いました。
- ・介護保険サービスだけでなく、障害サービス利用等を併せ、要介護者が望む生活ができるよう、他機関との連携を図り支援しました。
- ・主任介護支援専門員による活動では、地域資源の情報を収集し他機関へ情報提供しました。
- ・包括支援センター等との連携強化や、研修への参加により資質向上に努めました。

令和元年度延べ利用者数 ※ () は前年度

要支援1・2：74件(53件) 要介護1・2：259件(220件) 要介護3・4・5：112件(101件)

(9) 訪問介護事業

継続して在宅生活を送ることができるよう、介護支援専門員と連携し、利用者に寄り添い訪問介護サービスを提供しました。

- ・ヘルパーミーティング(1回/月)での情報共有とともに、外部講師による研修や事例研修等に参加し、スキルアップに努めました。
- ・利用者の入退院やショートステイの利用のための支援の中断により、延べ利用数が前年より減少しまし

た。

令和元年度利用者数 ※ () は前年度

要支援 1 : 4 名 (5 名) 要支援 2 : 9 名 (10 名)

要介護 1 : 13 名 (10 名) 要介護 2 : 6 名 (10 名) 要介護 3 : 5 名 (3 名)

要介護 4 : 0 名 (0 名) 要介護 5 : 2 名 (2 名) 延べ利用数 3,541 件 (3,857 件)

Ⅲ 障害福祉事業

(10) 地域活動支援センターバンブー

日中の居場所として生産活動や社会との交流を図り、安定した地域生活に繋がるよう支援しました。

●社会との交流の推進

4 地域の地域寄り合い処への参加と、延べ 170 名のボランティアを受け入れ交流を行いました。

●生産活動の推進

個々の状態に応じた生産活動と職員の補助により、1,055,947 円の作業収入を得ることができました。

●社会適応の推進

社会適応訓練の一環として調理実習を実施しました。

(11) 地域活動支援センターふらっと

日中の居場所としての役割を果たすとともに、日常的な相談に応じ、安定した地域生活に繋がるよう支援しました。

●フリースペース機能の充実

利用者の希望や困っていることなどを話し合うため、隔月でミーティングを開催しました。

(5/11、7/6、9/7、11/2、1/11、3/7)

その他季節に応じたイベントを開催しました。

●保健・医療・福祉及び地域の社会基盤との連携

・病院MSW・PSW・相談支援従事者ネットワーク会議

日 時 令和 2 年 1 月 17 日 (金) 14:30~15:30 (会場 : 富士宮市役所 430 会議室)

・ふらっとチラシの配布

●在宅で生活されている障がいを持たれた方を対象にした公開講座

第 1 回 調理実習「彩り豊か！夏野菜七タレシピ」

日 時 令和元年 7 月 6 日 (土) 13:30~13:00 (会場 : 富士宮市総合福祉会館調理実習室)

講 師 小野クッキングスクール代表 小野圭子 氏

参加者 10 名

第 2 回 「パステルアート講座」

日 時 令和元年 11 月 9 日 (土) 13:30~15:30 (会場 : 富士宮市総合福祉会館創作室)

講 師 アトリエ saya 塩谷智子 氏 (日本パステルホープアート協会認定インストラクター)

参加者 8 名

第 3 回 「はじめての茶道」【※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

日 時 令和 2 年 2 月 29 日 (土) (会場 : 富士宮市総合福祉会館創作室)

講 師 鈴木久二重 氏 (裏千家茶道淡交会終身師範会員)

●地域住民向け公開講座【※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期】

「摂食障害の理解と支援」

日 時 令和 2 年 3 月 27 日 (金) (会場 : 富士宮市総合福祉会館第 1・第 2 会議室)

講 師 西澤昇子 氏 (カウンセリングルームなちゅらぼ)

●ボランティアの状況

精神保健福祉ボランティア養成講座体験学習受け入れ(6 名)、ペタボード・卓球等ボランティア(延べ 179 名)

●ピアカウンセリング体験

第1回 「今後の生活の希望について」

日時 令和元年5月29日(水) 13:30~15:00 (会場: 富士宮市総合福祉会館和室)

参加数 4名

第2回 「自分の健康について」

日時 令和元年8月31日(水) 13:30~15:00 (会場: 富士宮市総合福祉会館第3会議室)

参加数 4名

第3回 「調子が悪い時にどう回復するか」

日時 令和元年11月27日(水) 13:30~15:00 (会場: 富士宮市総合福祉会館和室)

参加数 6名

第4回 「お薬とのつきあい方」

日時 令和2年2月26日(水) 13:30~15:00 (会場: 富士宮市総合福祉会館第3会議室)

参加数 5名

・その他、季節に応じた行事、調理実習、お菓子作り等を随時開催。

(12) 指定相談事業

障がい者(児)等からの相談を受け、情報の提供や関係機関との調整を図るとともに、サービス等利用計画の作成・マネジメントを行いました。特に障がい児等からの相談を重点的に行いました。※()は前年度

年間実利用人数 763名 (742名)

内 大人 421名 (463名)

子ども 342名 (279名)

延べ相談件数 16,415件 (16,473件)

プラン作成 1,199件 (1,095件)

個別ケア会議開催件数 287件 (263件)

職員は、相談支援専門員6名・管理者1名の体制であり、強度行動障害支援者養成研修、医療ケア児等コーディネーター養成研修、精神障害者の地域移行に関する研修を修了した職員を配置しました。また、毎月の事例検討研修のほか、年3回の外部講師招聘による研修、外部研修への参加も行い、職員の相談援助技術の向上に努めました。

(13) 障害者居宅介護事業

利用者の特性を理解し、家事支援・身体介護を行いました。また、安心・安全に通院介助・移動支援を行い、買物等を楽しみました。

毎月1回ヘルパーミーティングでの情報共有、外部講師による研修や事例研修等に参加し、支援技術の向上に努めました。

令和元年度延べ利用者数 ※()は前年度

居宅介護事業: 21名(25名) 延べ利用数 1,551件(1,592件)

移動支援事業: 3名(3名) 延べ利用数 34件(37件)

(14) 障害者同行援護事業

視覚障がい者の通院・買物・余暇活動の参加に同行し、安心・安全に外出支援を行いました。土日の希望にも対応することができました。利用希望が多く、支援回数が増加傾向にあります。

毎月1回ヘルパーミーティングで情報共有・研修を行い、支援内容の共通認識や支援技術の向上を図りました。

令和元年度延べ利用者数 ※()は前年度

利用者数 14名(13名) 延べ利用数 973件(813件)

IV 総合福祉会館事業

(15) 総合福祉会館

利用される方々が安全で安心して利用できるよう、管理に心がけました。また、老朽化の目立つ機器のオーバーホール等を実施しました。

延利用者数：104,028名　1日あたり：318名（前年比：89%）　開館日数：290日

●自主事業の実施

参加者同士のコミュニケーションと生きがい作りを目的に各種講座を実施しました。

- ・健康体操教室（全10回×4講座　参加者240名）

【※4講座目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため8回で中止】

- ・そば打ち教室（全1回×1講座　参加者16名）
- ・男のピラティス（全5回×1講座　参加者14名）

●機器の老朽化に対する対応

保守点検等で不具合が生じた機器については随時修繕を行いました。また、経年劣化による照明器具をはじめ、水回り等の故障についても修繕を行いました。

備品の入れ替えや今後必要となる大規模修繕の内容については、所管課へ事務報告書等により提出しました。

●経費削減

委託契約の見積合わせ、ピークカット契約の継続、蛍光灯の故障の際のLED化を進めることで、経費削減に努めました。

●消防訓練の実施

万一の地震や火災を想定し、職員が適切で迅速な対応ができるよう訓練を行い、防災組織運営の意識向上を図りました。（令和元年9月5日、令和元年12月3日）

●会館利用促進

富士宮市総合福祉会館の利用促進を目的として、明るいまちに利用についてのPRを掲載するとともに、宮バスの時刻表に広告を掲載しました。

V その他事業

(16) 車いすの貸し出し事業

介護保険の認定申請中の方、急な外出や怪我により一時的に必要な方等に対し、短期間の貸し出しを行いました。（令和元年度貸出回数：167回（平成30年度：153回））

VI 他団体事務等

① 富士宮市民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員信条並びに児童憲章を常に意識し、地域福祉の発展に努めました。また、区長会との意見交換会、ケアマネとの意見交換会等、地域課題での連携の強化を図りました。

② 日本赤十字社富士宮市地区

市民の防災意識の向上を図ると同時に、静岡県支部で実施できる講座の周知や、大規模災害が発生した時の義援金募集を行いました。

各講習やイベント時、富士宮市赤十字奉仕団の活動への理解と団員の募集を行いました。

合同大会などを通し、引き続き日赤事業についての住民の理解と協力を呼びかけます。

③ 富士宮市ボランティア連絡会

・視察研修会、静岡県ボランティア研究集会への参加を通して、お互いの活動について理解を深めました。

た。

- ・会員相互が協力して、30周年記念誌を発行しました。
- ・ボランティアまつりふれあいトークを共催し、高校生ボランティアの協力を得て、地域住民へボランティア活動の啓発、活動への参加を促しました。
- ・各事業を通して、会員間の連携を図りました。

③ ふじさんシニアクラブ富士宮

シニアクラブ活動の中で、地域の仲間とつながり、生きがいや健康づくりなど、様々な活動を通じ、日々を豊かに過ごせるよう努めました。また、地域で頼られる団体となるよう、地域貢献活動を実施しました。

令和元年度 社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 事業報告書

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告附属明細書への記載はありません。